

## 令和5年度（金沢支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、服務規律の徹底)	・公務外であっても法令順守の意識を持ち、公務員として自覚ある行動をする。	・4月の職員会議で「神奈川県職員行動指針」の内容を確認し、公務員としての基本的な姿勢を確認した。 ・毎月事故不祥事防止会議を開催し、通知等を基に研修を実施し、教職員一人ひとりの法令遵守意識を高めた。また、身近な事例を取り上げ意識向上を図った。
②職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	・同僚性によるコミュニケーションの質の向上をはかる。 ・人権意識の向上をはかる。	・総括教諭を中心に有機的なコミュニケーションを実践し風通しよく円滑な人間関係を築くことができた。 ・研修資料等を活用し、ハラスメントについて学び全職員の意識を高めることができた。
③児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	・職員一人ひとりが未然防止に向けて当事者意識を持ち、決められたルールを遵守する。	・管理職や総括教諭が日常的に校内を巡回し、指導の様子等を観察することで教職員の人権意識の向上を図った。 ・授業参観や学校見学等で保護者や外部の方に学校を開放し、事故防止の徹底を図った。
④体罰・不適切な指導の防止	・児童生徒に対する人権意識の向上を図る。 ・教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る。	・啓発資料の配付やヒヤリハット事例の紹介を通して人権意識を高めることができた。 ・学部研修等で指導場面の振り返りや事例検討を行うことで、体罰や不適切指導を防止した。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	・個別教育計画や入選関係資料、進路関係書類等の作成、回議、配付、回収、保管を適切に行う。	・情報セキュリティに関するルールを全校に周知しチェック体制を整備したことで安全に管理することができた。 ・個人情報の回議では目隠しファイルを活用、配付・回収・保管の際はチェック表を用いることで適切に取り扱うことができた。
⑥個人情報の管理、情報セキュリティ対策	・個人情報等の適正管理を徹底する。	・個人情報を含むデータは対策重要度Ⅰ、書面は施錠できる場所で管理するよう周知し適切に取り扱うことができた。 ・個人情報を含んだ印刷物の取り忘れや裏紙等で再利用しないよう注意喚起し、管理の徹底を図った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

今年度は不祥事防止に向けた組織的対応を重視し、全員参加型の職場討議の実施、職員間で相談しやすい風通しの良い職場環境の構築を推進することにより、教職員全体の事故不祥事防止の意識を高めることができた。次年度も引き続き、事故不祥事の未然防止に学校全体で取り組み、安全で安心な学校を目指していきたい。